

(様式第4号) 上田市文化芸術に関する基本構想策定委員会審議会 会議概要

1	審議会名	第4回 第二次上田市文化芸術に関する基本構想策定委員会
2	日時	平成27年12月3日(木) 午前9時30分から午前12時00分まで
3	会場	上田市教育委員会第1会議室
4	出席者	児玉会長、大滝委員、宮下委員、松橋委員、間島委員、小宮山委員、竹花委員、増田委員、南村委員、吉田委員、津村委員、上沢委員
5	市側出席者	文化振興課長、地域文化係長、文化財保護担当係長、博物館長、交流文化芸術センター副館長、交流文化芸術センター・美術館職員
6	公開・非公開等の別	公開・一部公開・非公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成 27年12月15日

協議事項等

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 協議事項
- (1) 上田市文化芸術振興に関する基本構想(素案)について
- ア 資料1 第二次上田市文化芸術振興に関する基本構想(素案) <送付資料>
第1章の説明 事務局
- 委員: 第1章の下から2行目「市民の皆さん」について、答申して作成するのに、市民協働で対等の立場で、「市民」で良いのではないか。「市民」でも失礼ではない。
- 会長: 文化的で豊かな社会生活を送れたから、市民としての誇りでないか。ここに住んで、文化的な生活を送れたから誇りをもてるのではないか。「皆さん」は取った方がすっきりする。
- 事務局: 「皆さん」は取り、会長の言われるとおり、順番を変えて修正します。
- 委員: 4ページの(4)の幸福度の指標とは何か教えてもらいたい。
- 委員: 自己実現、成長、つながりと感謝とか、前向きなど、各テーマを一つ一つ指標をとりまとめたものが指標ではないか。
- 事務局: 次回できる限り資料を用意いたします。
- 委員: お聞きしたいが、答申に出して、行政で手直しをするのか。
- 事務局: 基本的には、そのままです。
- 委員: 2ページの「27年度をもって終了することを受け、」とあるが、今の時点では良いが、できあがる頃は終了しているのではないか。
- 事務局: 「27年度をもって終了し、」に直します。
- 委員: 6ページの6文化芸術振興の主体の概略ですが、「さらに活動の手法や資金などを提供し、」となっているが「資金などの提供」まで書ききって良いのか。資金とあると誤解を招かないか。資金は、民間企業等だと思うが、全部にかかるような気がして、全部の団体が資金ということになってしまうのではないか。
- 事務局: 資金という言葉を除いてということですか。
- 委員: そうです。資金がなければ文化芸術活動の広がりが出来ないのか。
- 委員: 上田市の企業など経済活動で大変だが、寄附活動などの資金提供は、これからの文化活動の中では必要なことだと思うので、残しておいて良いのでは。
- 委員: 長野のホクト文化会館や、松本のキッセイ文化ホールなどの命名権があるが、そういうものがあれば良いと思う。そういう面でも(資金が)あったほうが良いのではないか。
- 委員: スポーツは目に見えて結果が出てよく分かるが、文化は目に見えた形で、例えば数値化とか難しい。資金は重要なポイントにはなるのではないか。今後、文化面にということであれば、資金という言葉は重要で、企業からの寄附が集まってこないのではないか。将来的に考えたうえで言葉を入れていただきたい。
- 会長: 今、よろしいのではとの意見が多いと思うが、確かに文化を創造し享受するのは、主体は市

民ですが、単に役割分担を書きあげてしまう気がする。大学その他の学校は、人材や情報、さらに活動の手法を提供する場だと思う。大学自身は、自ら文化振興をしないで、支援をしると言っているようだ。

委員：地方の一短期大学では、毎年無料でコンサ - トや文化芸術に関する舞台発表を行われている。まだ、ご存知ない方がいる。そういう機会は提供しているが、広報活動やどのように共存していくか難しい。

会長：何となく、市民と大学などの役割分担が書かれているような気がする。もう少し違った表現はないか。

事務局：三つの市民と団体、行政の括りで書かれていますが、みんな被る。そういう意味で、属性に関わる役割で書いてある。7ページの役割には、資金について書かれていない。皆さんの言われた意見をまとめて、書く必要があれば。

会長：資金は残してということ

委員：これから、寄附がないと成立していかない。公益法人では寄附による優遇税制がひかれている。今までの財団では特になかったが、公益法人や企業、市民が寄附をするという動きがこの国で生まれつつある。何も、企業だけがお金を出すということではないと思う。

会長：外国の博物館をみますと、ほとんどが寄附で運営している。自分自身がお金を出し、自分の文化を創造している。ここに書いてあるのは、企業イコール資金と書いてあると思うが、いずれは市民も僅かながら資金を提供しながら活動する。資金という文言は残して、趣旨に沿うような形で検討いただくということで、事務局にお願いしたい。

資料編について説明 事務局説明

委員：文化財の所有者も公表するのか。

事務局：現在でも公表しており、インターネットでも見られます

会長：なければ、前回検討した10ページからの2章、3章でどうでしょうか。

委員：17ページの課題の「ファシリテイト」の意味は。

事務局：コーディネーター的な意味合いです。意味がわかりづらいので注釈をつけるなど工夫させてもらいます。

委員：14ページの芸能は旧丸子町指定のものだと思いますが、10年経つので無形民俗文化財に入れてはどうか。

事務局：市の文化財保護審議会で協議いただいて結論を出すことになります。

委員：14ページの課題には、無形民俗文化財14件、芸能4件となっているが、前のページの現状には、補助金16団体となっている。どのようになっているのか。

事務局：18件のうち補助対象となっている団体が16件であります。

委員：10ページの「社会教育機関」とあるが、機関だと行政が教育してやろうという感じがある。「機関」を、「施設」では不都合はあるか。サントミュージゼでは、多様な機関となっているところは、この使い方の良いが、社会教育については施設も機関も同じような使い方を行っているがどうか。施設は、建造物だけでなく、やり方なども用語として含まれる。最前線の市としては「施設」が適切ではないか。

事務局：どちらでも良いかと思うが、社会教育法の中の言葉で言うと機関は機能、施設はどちらかという箱物を連想してしまうので、区別した方が良いと思う。社会教育は箱物だけで行われる学習だけでなく、外へ出て行われる社会教育も当然たくさんあるので、それらを含めて社会教育機関とした。

委員：例えば、音楽村のような財団等も含まれるのか。

事務局：社会教育機関になります。

委員：そうすると社会教育施設より広義の意味を持つ。

委員：最近、文化芸術の分野での施設は、箱物と捉えられている。

委員：10ページの現状の学校における郷土の歴史や文化を知る学習に「真田」が多く出てきているが、以前お話のあった一本を貫くものもありましたが、その時にも国府があり、国分寺があり、真田もありましたが、そういうようなものを課題としてあげておいたらどうか。

事務局：委員が言われるのは、真田だけでなく、各時代のものを学習の中にとということですか。これらは、体験学習などはやっています。

会長：今後も、そのようなもの入れた小雑誌をつくるつもりですか。

事務局：小学校3・4年向けの「わたしたちの上田市」はあります。

会長：郷土に関する小冊子で平成26年は真田氏ということなら良かったが、「真田氏の」となっているから。

事務局：「郷土の歴史や文化」に直します。今後、郷土の先人・偉人の小冊子を考えている。

委員：真田丸で、今真田が盛り上がっていますが、一過性のものだと思います。それ以外でも重要なものがあるので。

会長：そういう教材を作って、提供していく意味合いが表に出るように変えた方が良いのでは。文章も少しおかしいので整理を、事務局にお願いしたい。

委員：サントミュージゼが拠点として、周りとの関係はどうなのか。分かるようなものが必要ではないか。地域の活動がそれぞれあると思いますが、拠点と言った時に、サントミュージゼが真ん中であって、フラットな形で、対等に各施設があるのか。あるいは上田市の中では、一番にサントミュージゼがあって、各施設があるのか。ネットワークのつくり方もいろいろあると思うが。先程の7ページと同じような図みたいなイメージできるものがあると、拠点としてどのように繋いでいくかがイメージしやすい。市民の皆さんがイメージしていくという中で、地域性というものを大事にしてやっていくのか、フラットな形で、各施設が活動となるのか。この辺のところ、中心でやっていくという中で掘り下げたほうが良いのではないか。

事務局：今おっしゃっているのは24ページの施策の上の下から4行目のところの「今後、ホールの・・・もとめられています。」とありますが、これを具体的にした方が良いということですか。

委員：分かりやすさという点で、イメージのようなものがあつた方が良いのか、成り行きのままの方が良いのか分かりませんが、サントミュージゼが真ん中にあり、各地域の活動の拠点となる施設があり、関係性みたいなものを図式化した方が分かりやすいのではないか。

事務局：新しい施設ということで、市民の期待は大きいし、規模的にも事業内容的にも恐らく他館ではできない大事業になっていることは間違いない。加えて、市内25校の小学5年生を対象とした、アーティストがアウトリーチや公民館でも同じように地域の皆さんに身近に、音楽を聴いていただいたり、ワークショップをしたりと事業展開を図っております。それぞれの地域ごとに活動していることも現状ですし、サントミュージゼでできないことを他館でやっていることも間違いありません。どうしても、図式化するとサントミュージゼが真ん中で、それぞれの館が衛星都市のようについてと線の上で結びついてとなってしまうが、それぞれの事業展開を踏まえて、図式化しないフラットな形で、協働しながら取り組んでいくとの姿勢に留めておいたほうが、お互いの施設が、お互いの価値観で事業展開するには良いのではないか。

委員：大きなテーマを掲げて、方針として進める中で、中心的なサントミュージゼがあつた方が良いのでは。各館でバラバラに好きなことをやるのも良いが、情報の整理といった見方も必要だし、上田市は何のテーマに向けてという見方も必要。施策に具体的な図式化したものを入れたほうが良いのではないか。

委員：委員の言われたことはそのとおりだと思います。どこかできちんとビジョンをつくっておかないと、それぞれがどういう立場でどういう役割で、最終的にそれぞれの拠点がどういう関係を持つかということだと思います。今の時点で、サントミュージゼが真ん中にいて、それぞれが衛星的にいるとか、重なるとか等の絵が書ききれないということだと思います。もう少し時間を経過して、それぞれがどういう衛星で連なっているのか。例えば、音楽村と他の施設とでは太さとか形が変わると思う。それを全部一括りに描いてしまうという危険性を感じている。ただ、ネットワークというか、上田全体のそれぞれの拠点施設のビジョンをベースにした繋がりみたいなものを、どこかで絵にしないと、後にバラバラとなってしまう。

委員：合併して10年の中で、地域はあまり意識がないかもしれないが、基本構想の中で、方向性としてイメージしておく必要があるのではないか。

委員：自分が今まで経験した地域で、合併は、2世代替わらないと自分の地域という意識がない。上手、重ねていける文化の役割は大きい。委員さんの言われたことを踏まえたうえで、何か図でなくて絵で書く、それが文章になるか分かりませんが必要ではないか。

委員：一色単に図式あるいは文章にした時に、サントミュージゼ以外の他の施設は良いのかとなってしまふので、何かそのところをフォローするような図で、文章を入れていただくことが必要ではないか。

委員：公民館の立ち位置は。私どもは平素の活動は公民館です。公民館の担当者が最前線で対応しているが、こういう場に加わっていただければ、もっと良い話になる。

会長：今は、図にするのは難しいですが、文章で書いていただいて、あくまでもこれから試行錯誤しながら目指していく方向性がみえるようなものを書いたらどうか。

事務局：先程、委員が言われたように、文化活動において、公民館は地域の大きな核となっている。この中では公民館のことは出てこない。サントミュージゼは、全市的な核となる役割があると思います。公民館とか地域にあるホールは、地域の皆さんが練習等で使って、地域の拠点であることは間違いない。

委員：全部の施設を見た時に、美術館だとか博物館、資料館、学校とかどういう関係性をどう持たせていくのか。ただ、どこかにイメージをもって、地域の方がそこへどう関わっていくということが必要。どの地域に住んでいても、どの立場であっても主役になれるイメージ、言葉があったら良いなと思う。

委員：松本市の美術館では、地域にどういう仏像があるかということで、松本市美術館に仏像を集めて展示したという事例がある。上田でもやれということではないが、これだけの重要文化財があるので、仏像がこれだけあると展示すれば、地域の方が集まり、サントミュージゼとの関わりを持つのではないか。いかに、美術文化を定着するためにどうしたらよいかとある大学の先生と話したところ、地道な活動しかないとの話があった。

委員：もっと広く発信していく草の根的な活動の場が、サントミュージゼだと思うし、調査・研究、サントミュージゼの事業計画にあるので、要素の事業を入れて、他者に見せ、検討を協議する場が必要だ。

会長：いずれにしても、現段階で図に描くことは難しいので、委員が言われたとおり、仏像展を取り上げた場合、今まで施設がなかったが、施設ができたということは、そういう機会が与えられた。チャンスがあるということなので、どのように機能させるかは今後の検討課題だと思います。

もう一つ事務局に質問ですが、11ページの現状で近代化遺産とはどのようなことを考えています。

事務局：蚕糸業の関係です。蚕種、養蚕、製糸です。

会長：具体的にはどんなものですか。

事務局：笠原工業や信大の今話題になっている千曲会館等です。

会長：2～3日前の新聞に地方都市について、上田市は2社5路線の鉄道があったという記事があった。全国的にも山間地にこれだけのものがあったのは珍しい。そんな背景に、製糸だけでは片手落ちで、鉄道文化は良いものを持っている。できれば、残っている駅舎は大事にしてみたい。近代化とは、総合的に捉えて、製糸だけでなく、製糸を支えたものや非常に早くできた発電所なども含めて活用できるものだと思う。そういうものを含めた小冊子みたいなものを子どもたちにどうか。

4 報告事項

(1) パブリックコメントについて

事務局：今日印刷にはなっているが、パブリックコメントについて、今日の文言を直して中間答申をして、1月にパブリックコメントをやるか、もう一度協議させていただいてやるか、いかがでしょうか。

会長：スケジュール的に間に合えば、きちっとしたところでやりたいと思いますが、どうでしょうか。

事務局：1月に協議ということをお願いしたいと思います。パブリックコメントは、その後になります。

5 事務連絡

- (1) 委員報酬支払いに伴う個人番号について
- (2) 第5回策定委員会の日程について
1月予定。会長と日程は打ち合わせて

6 閉 会